



TITLE:

# 米國物理學會春季總會に於ける天文學に関する討論會

AUTHOR(S):

---

CITATION:

米國物理學會春季總會に於ける天文學に関する討論會. 天界 1941, 21(244): 308-308

ISSUE DATE:

1941-09-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168266>

RIGHT:

することなく、能く現在に至るまで十分に保存したことは正に精神文化と科學文明との兩方面に多大の關心を拂へるものといふべきで、實に會心の至りである。(終)

## 米國物理學會春季總會に於ける天文學に關する討論會

去る五月1日から3日までワシントンで開かれた米國物理學會 (American Physical Society) の春季總會に於ては、160件以上の研究發表が爲されて、その中に天文學に關するものも含まれてゐたが、特に本會の華たる討論會の主題が、下記の通り、殆んど全く天文學に關するものであつたことは、最近の物理學に於ける重要問題解決の鍵が天體現象に存することを示すものとして注目に値する。

“恒星の核エネルギー源”に關する討論會は、3日午後ジョージ・ワシントン大學ガモウ (Gamow) 教授主唱のもとに、國立科學院講堂で開かれた。壁頭ガモウ教授は開會演説を行ひ、“恒星の分類”より初めて、“恒星の爆發”で結んだ。次いで、コネル大學のベୀテ (H. Bethe) は“主列星のエネルギー學”に就いて述べ、ジョージ・ワシントン大學のテラ (E. Teller) は“赤色巨星に於ける輕元素の反應”について語り、ロチェスタ大學のマーシャク (R. Marshak) 及びプリンストン大學のクリッチフィールド (C. L. Critchfield) は“白色矮星の諸問題”に就いて語つた。座長はコロンビヤ大學のペグラム學長で數百名の聴衆が出席し、盛會を極めた。(Phys. Rev. Vol. 59 (2) No. 11)

## 正 誤

### 第238號 (昭和16年四月號)

表紙第2頁口繪カニンガム彗星、右方ノモノ 十二月21日19時20分 九月21日19時20分

### 第241號 (昭和16年七月號)

前附廣告第2頁、上部天文寫眞第一輯第8號	ヘルクレス珠狀星圖	ヘルクレス球狀星團
第216頁 下部、表彰者一覽表、8岡林滋樹	15年5月18日	16年5月18日
第223頁 第12行目、3. 木邊觀測部長	ドノホ1賞牌の紹介	ドノホ1賞牌の紹介
第225頁 「各課長へ御願ひ」ノ第3行目	詳細は次號に	詳細は次號に
第229頁 輻射點表ノ中、 第1604號輻射點ノ備考	Praconid	Draconid
第(331)頁 表彰狀第八號第14行目	「ベラスケ……	バラスケ……」